

県民の健康被害の極小化と
安全・安心な生活環境の確保を目指して



大分県 衛生環境研究センター

Oita Prefectural Institute of Health and Environment



近年の保健衛生、環境分野は、デング熱等の感染症や食品中の残留農薬、大気中のPM2.5をはじめとする有害物質、また、「おんせん県おおいた」の温泉資源の保護や海、河川等の水環境などへの取組が求められています。また、国際化する人の交流を受け、より高度なまた広域的な視点からの健康危機管理が求められています。こうした中で、当センターは、保健衛生と環境分野の科学的・技術的中核機関として、これらの課題に対して、様々な試験検査や調査研究を行っています。今後も、大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」に基づき、県民の健康被害の極小化と安全・安心な生活環境の確保のため、様々な課題に取り組みます。

沿革

昭和26年7月	予防、環境及び薬務の3課に属していた各試験室を統合し、大分県衛生研究所として発足した。
昭和28年8月	大分市寿町に独立した新庁舎が完成した。
昭和45年7月	大分市大字曲芳河原団地に新庁舎が完成し、寿町から移転した。
昭和48年3月	大分市大字曲芳河原団地に公害センター庁舎が完成した。
昭和48年4月	10部1課制となり、大分県公害衛生センターとして発足した。
昭和62年5月	化学部に理化学科と食品衛生科、微生物部に細菌科とウイルス科、大気部に大気科と情報調査科、水質部に水質科と環境生物科を新設して、10部1課8科制となった。
平成 3年5月	大分県衛生環境研究センターに名称が改められ、管理部が管理情報部となり、管理課及び企画情報課を設け、技術部門の化学部、微生物部、大気部及び水質部と併せて5部2課制となった。
平成12年3月	特定化学物質分析棟が完成した。
平成12年4月	管理情報部が管理部となり、企画情報課が廃止され、新たに企画・特定化学物質部を設け、6部1課制となった。
平成14年4月	管理課が廃止され、6部制となった。
平成15年3月	大分市高江西2丁目に新庁舎が完成し、芳河原団地から移転した。
平成18年4月	部制が廃止され、企画・管理、化学、微生物、大気・特定化学物質、水質の5担当制となった。

施設の概要

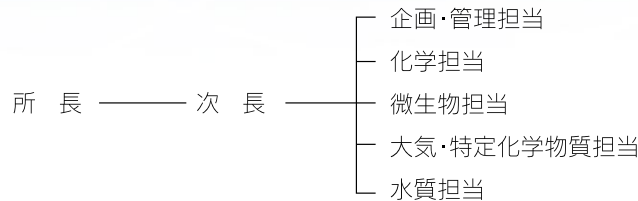
所在地	大分市高江西2丁目8番	
敷地面積	13,238㎡	
建物構造面積	① 研究棟 鉄筋コンクリート3階建 面積 5,255㎡ 完工期日 平成15年2月10日	② 付属施設 設備棟、車庫、倉庫

主要機器

電子顕微鏡(透過、走査型)	水質自動分析装置(T-N,T-P)
液体クロマトグラフ質量分析装置	大気汚染テレメータ装置
高分解能ガスクロマトグラフ質量分析装置(磁場式)	大気汚染移動測定車
ガスクロマトグラフ質量分析装置(四重極)	全有機炭素計
ICP発光分光分析装置	水銀分析計
ICP質量分析装置	超高速遠心機
ガスクロマトグラフ(ECD,FPD,NPD,FID)	遺伝子解析装置
高速液体クロマトグラフ	ケミカルハザード対策システム
イオンクロマトグラフ	ジェネティックアナライザー

組織及び業務内容

(1) 組織



(2) 業務内容

企画・管理担当

- (管理)
 - ・人事及び組織の管理
 - ・庁舎の維持及び管理
 - ・予算の執行及び物品の管理
- (企画)
 - ・調査研究、精度管理及び研修指導の企画及び調整
 - ・衛生及び環境情報の収集、解析及び広報

化学担当

- ・食品に含まれる有害物質、添加物、残留農薬の試験検査
- ・乳幼児用衣類等家庭用品の試験検査
- ・残留農薬等に係る調査研究
- ・自然毒の試験検査

微生物担当

- ・感染症、食中毒の病原微生物検査
- ・食品の微生物検査
- ・日本脳炎の流行予測調査
- ・川や海水浴場の細菌検査
- ・レジオネラ等に係る調査研究

大気・特定化学物質担当

- ・大気汚染の常時監視、悪臭物質の測定
- ・有害大気汚染物質の調査
- ・ダイオキシン類の分析
- ・大気汚染等に係る調査研究
- ・酸性雨、環境放射能の調査

水質担当

- ・海水、河川水、工場排水等の水質分析
- ・温泉の分析
- ・廃棄物処理場からの排水に係る有害物質の分析
- ・水質汚濁に係る調査研究

企画・管理担当

高度化、広域化する諸課題に対応できるよう、職員の専門的な知識や技術力の習得、向上のため、専門研修派遣や調査研究の総合調整、評価などを行っています。また、県民の当センター業務等の理解や環境保全の意識を図る体験学習、研修や広報を行っています。



▲ インターンシップ研修(環境学習)



▲ 外部評価委員会での風景

環境教育・研修

環境月間に、地元小学生を対象とした体験学習や大分市内の工業高校を対象にインターンシップ研修等を行います。



▲ 小学生の体験学習

調査研究課題に対する評価

当センターで実施する調査研究課題の総合調整を行うとともに、提出された新規課題、継続課題、終了課題について、内部評価及び外部評価を行います。

化学担当

食品の残留農薬、動物用医薬品、食品添加物等の試験検査を行い、食品の安全性確保に努めています。また、医薬品、家庭用品などの試験検査を行っています。



▲ 食品検査 (検体受付)



▲ 動物用医薬品の測定
(液体イオンクロマトグラフ質量分析装置)



▲ 食品添加物の検査 (通気蒸留装置)



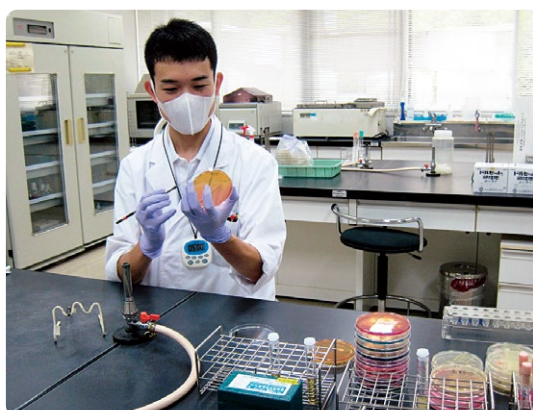
▲ リアルタイムPCRによる遺伝子の検出



▲ 遺伝子解析

微生物担当

感染症、食中毒の病原微生物学的検査や日本脳炎の流行予測調査を行っています。また、レジオネラ菌や日本紅斑熱、SFTSなどに関する調査研究を行い、保健衛生上の安全確保に努めています。



▲ 細菌検査

大気・特定化学物質担当

有害大気汚染物質、ダイオキシン類、悪臭物質、環境放射能、酸性雨の測定及びPM2.5の成分分析を行っています。また、大気汚染常時監視テレメータシステムと大気環境測定車で大気汚染状況の監視を行い大気環境の保全に努めています。



▲ PM2.5のサンプリング



▲ ダイオキシン類の測定



▲ 空間線量率の測定



▲ 化学的酸素要求量(COD)の測定



▲ 温泉水の現地調査

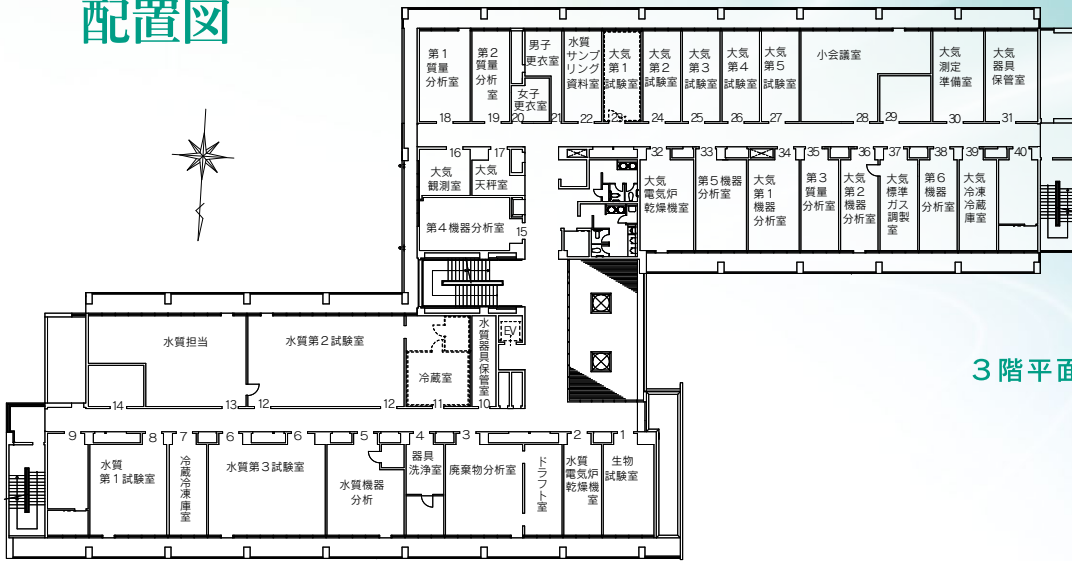
水質担当

県下の河川水、湖沼水、地下水、工場排水、廃棄物最終処分場からの放流水等及び温泉水の水質分析を行っています。また、水質汚濁等に係る調査研究を行い、水質環境の保全に努めています。

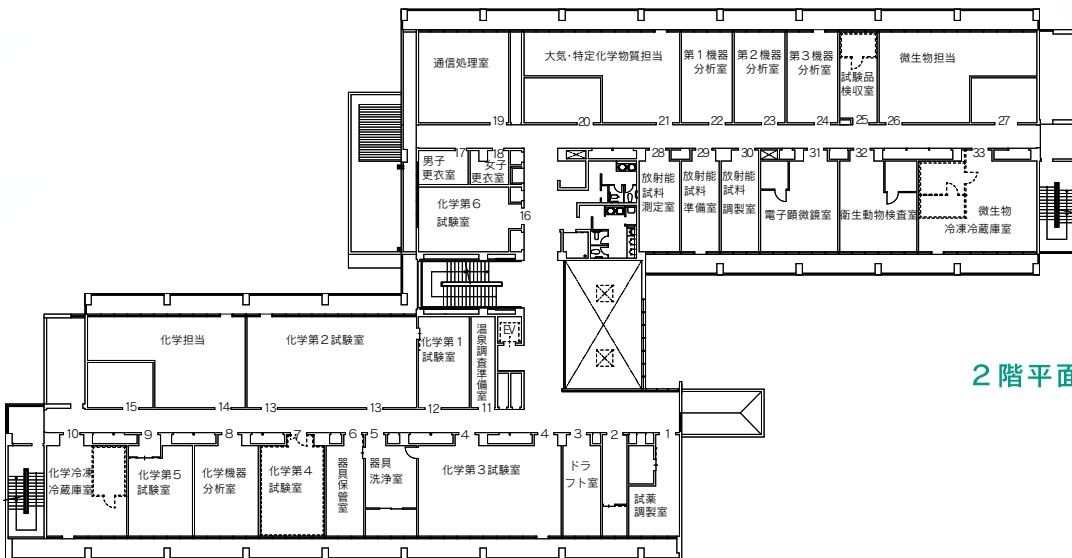


▲ 重金属の測定(ICP質量分析装置)

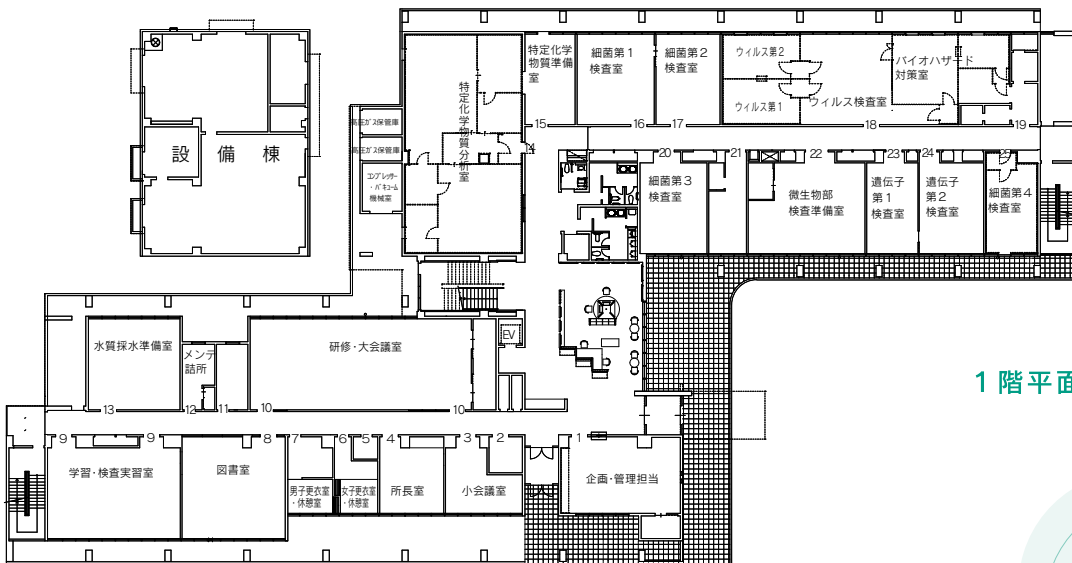
配置図



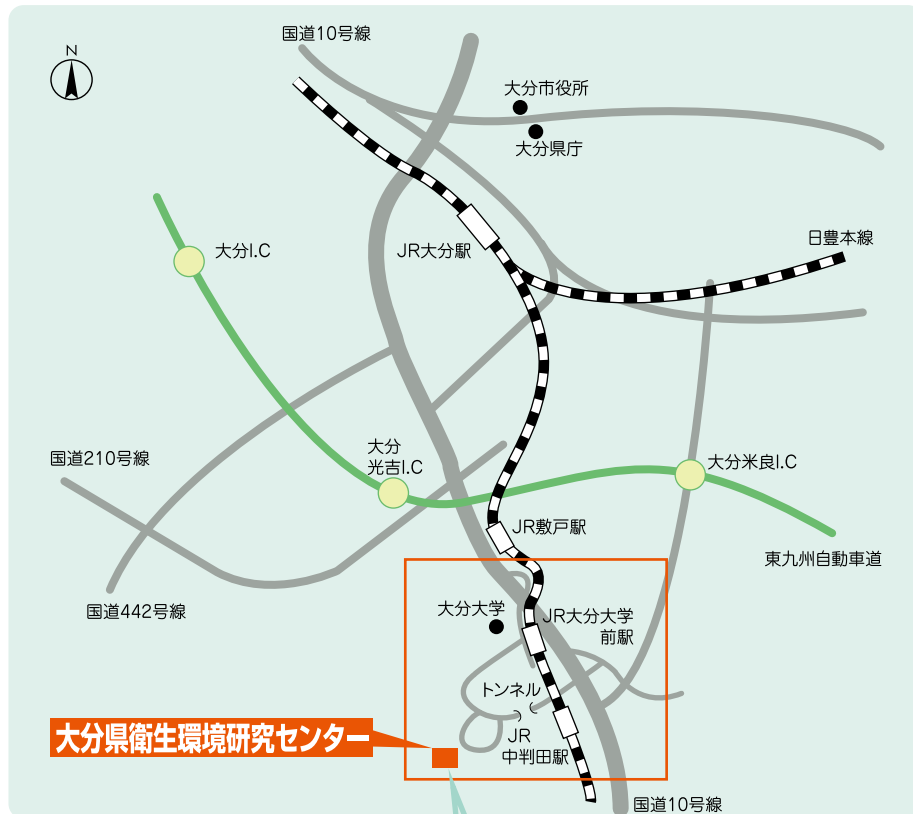
3階平面



2階平面

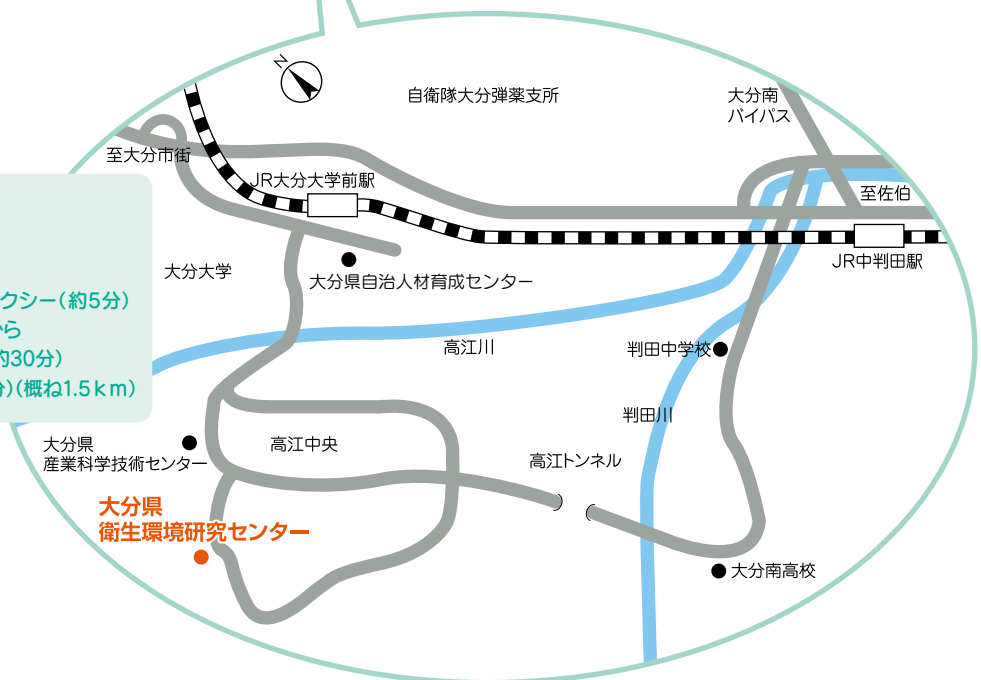


1階平面



交通案内

- 大分県庁からタクシー(約25分)
- JR大分駅からタクシー(約25分)
※ 県庁、駅から概ね10Km
- JR大分大学前駅(豊肥線)からタクシー(約5分)
- 大分バス[トキハデパート前①]から
高江ニュータウン[大南団地]行(約30分)
・高江中央公園前下車(徒歩約15分)(概ね1.5km)



大分県衛生環境研究センター

〒870-1117 大分市高江西2丁目8番

TEL : 097-554-8980

FAX : 097-554-8987

E-mail : a13002@pref.oita.lg.jp

ホームページアドレス <http://www.pref.oita.jp/soshiki/13002/>